

実践 絹絵の技法

日本画の絹絵制作について、その技法を実演と解説および実習を交えて分かりやすくレクチャーします。絹を用いた日本画に挑戦したい方や、絹絵についてさらに技法的にレベルアップしたい方々、ぜひご参加ください。

- 日時：平成30年10月24日(水) 13時～16時
- 場所：愛知県立芸術大学 文化財保存修復研究所 既設講義室
- 講師：鈴木貴夫(表具師)
岩永てるみ、阪野智啓(文化財保存修復研究所所員)
- 対象：日本画経験者
- 定員：15名(先着順・一お申込みにつき一名まで・定員に達し次第締め切らせて頂きます)
- 参加費：3,500円

プログラム

13:00～13:40 講義「絵絹の技法について」岩永・阪野

基礎編：絹取り(耳切り)、木枠貼り込み、ドーサ分量等

応用編：絹染、石擦り、裏彩色、裏箔など

※見本を用いた実演と解説

----- (10分休憩) -----

13:50～15:50 実習「絵絹の裏打ち」鈴木

※15号サイズまでなら、持ち込みの絵絹も可

15:50～16:00 講義「パネル仕立て」鈴木

パネルに張り込む方法について

終了後、学内施設(文化財保存修復研究所ほか)の見学を予定(希望者)

※プログラムは、一部変更される場合があります。

お申し込み方法

1. 受付期間:9月3日(月)～10月9日(火)

氏名、連絡先を添えて下記までメールにてお申し込みください。

2. 参加費は事前口座振り込みです。詳細は受付完了後、メールにてお知らせします。

愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所

TEL:0561-76-7611(平日9時～17時)

Email: bunkazai@mail.aichi-fam-u.ac.jp